

地域と 手を取り合う



事業などに関する出前講座や子どもたちが楽しめる学習イベント、地域住民と協働で行う美化活動など、各地域の特色にあわせた様々な活動を行っています。

地域との交流や連携を通して、これからもより良いまちづくりに貢献していきます。

地域連携

学習機会の提供

地域や学生に川や道路、防災等に対する正しい知識や関心を持っていただくため、出前講座や環境学習、インターンシップなどを積極的に行っています。

出前講座

大分河川国道事務所が実施する事業や施策、川や道路、防災などに関することをもっと知り関心を持っていただくために、学校や企業等に出張し『出前講座』を実施しています。



環境学習

洪水の危険性や避難の重要性を知ること、身近な川の水質を知り、川への理解や河川愛護へのきっかけにさせていただくために地域住民・学校などと一緒に水質調査（簡易水質調査・水生生物調査）を実施しています。



インターンシップ

将来、国土交通省で働きたいと考える学生に、大分河川国道事務所がどのような仕事をしているかを知っていただくため、日常業務の体験の場を提供しています。



川に関する検討会

大分川や大野川流域の方々や川で活動する団体のみなさまとともに「川づくり・まちづくり・人づくり」について、語り・学び・交流し、河川の整備や管理に活かしています。

大分川・大野川学識者懇談会

大分川や大野川の河川整備事業について、点検及び必要に応じて河川整備計画(原案)に対する意見聴取や事業の評価をいただいています。



大分川・大野川河道管理環境検討委員会

「河川環境の整備と保全」の充実を図るため、河川内の河道掘削や樹木伐採に関して有識者から助言を受ける「大分川・大野川河道管理環境検討委員会」を開催し、その意見を踏まえて環境に配慮した河川整備や維持管理を実施しています。



河川協力団体

大野川水系では「乙津川水辺の楽校運営協議会」、大分川水系では「津留地区ふるさとづくり運動推進協議会」「ななせ交流会」が河川協力団体の指定を受け、地域に根ざした河川の維持、環境保全、啓発等の活動を実施しています。



河川協力団体制度とは

河川の維持、河川環境の保全などの河川の管理につながる活動を自発的に行っている民間団体等を『河川協力団体』として法律上位置付け、河川管理者と河川協力団体が充実したコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を構築することで、河川管理のパートナーとしての活動を促進し、地域の実情に応じた河川管理の充実を図ることを目的として制度化されました。



道に関わる3団体の連携

概要

「三つの輪」のとりくみ

県内の道の駅・日本風景街道・道守大分会議では、それぞれが各活動を理解するとともに、今後の活動をより良くするため、「三つの輪」として連携し協働活動することで、それぞれの特性をより活かしていきます。

三者連携の一環として、被災者義援金やコロナに係る医療関係者支援等々の募金活動を道の駅で実施し、また毎年度三者によるシンポジウムを開催しています。

令和8年度においても、さらなる地域貢献を目指していきます。

河川

休憩機能・情報交流機能・地域連携機能

地域活性化への
寄与・観光振興
への寄与



美しい景観づくり

道路

防災



R6.4.22 道の駅で美化活動in道の駅「ゆふいん」

地域連携

大分河川国道の歩み



第9回 語ろうみんなで! ティーパーティー3つの輪
「災害」と「道の駅」-3つの輪が今からできること-

道の駅

道路利用者や地域の方々のための「休憩機能」と「情報発信機能」、そして道の駅をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」、この3つの機能を併せ持つのが「道の駅」です。大分県内では26駅の「道の駅」が登録されています。(2026年4月現在)
2020年からは「道の駅」を第3ステージとして位置づけ、3つの取り組みを推進しています。

地域の子育てを応援する施設の整備などにより

- ・「道の駅」を世界ブランドとして新たなインバウンド観光拠点を目指す
- ・広域的な防災機能を担う「防災道の駅」制度の導入
- ・あらゆる世代が「道の駅」で活躍するための環境を提供する

広域的な防災拠点として大分県では、令和3年6月に道の駅ゆふいん、令和7年5月に道の駅あさじが「防災道の駅」として選定されました。

道の駅ゆふいん 整備状況



情報室



授乳室



防災倉庫

日本風景街道

「日本風景街道」とは、住民・NPO・企業などが主体となって行政と連携しながら、道を舞台に風景や自然・歴史・文化など、地域ならではの資源を活かした「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「観光の振興」を行っていく取り組みです。

おおいた海への道



おおいた海への道は東の津久見市から西へ国東半島を廻るルートであり、別府湾岸を中心とした美しい海辺の景観と歴史文化のコラボレーションを体験できます。

- ・「別府温泉と風景街道まちまち博」を開催
 - ・「世間遺産(※)を巡るまち歩き」プロジェクト
- ※人々の生活に溶け込んだ風景の中から、素晴らしいもの(=世間遺産)を見つける



第6回日本世間遺産学会in別府



風景街道まちまち博

九州横断の道 やまなみハイウェイ



九州横断の道やまなみハイウェイは雄大なくじゅう連山、飯田高原などの大草原が広がり、ぐるっとくじゅう周遊道路や岡城址までの国道442号などの魅力的なバイウェイで構成する地域がフィールドです。

- ・インバウンド対応のためのモニターツアー
- ・地域の子供たちとともにミュージカルを開催



ファムツアーによるPR



油屋熊ハミュージカル

道守大分会議

概要

九州で「道」に関するさまざまな活動を行う人々や団体で構成する民主体の任意団体で、民と行政との「協働」を基本に活動し、「道」を舞台に、あるいはテーマに様々な活動を行っている人々を「道守」と名付け、その行動を「道守活動」と呼んでいます。

道守大分会議では、道守活動を行っているNPO、市民団体、個人、企業等がネットワークを形成し、160団体、約7,500名(令和6年4月現在)が道路清掃等のボランティア活動や情報発信を行なうことで交流しています。

主な活動

- 道の清掃美化活動
- 花や樹木育成・手入れ
- 道の歴史・文化の発掘・継承・活用
- 道を利用したまちづくり など
- 県内初の「道路協力団体」に指定された団体としての活動

河川



平成31年2月25日
「大分プロスポーツ3チーム
別大国道マイツリー植樹式」



令和元年9月24日
「西大分地区ラグビーWC
おもてなし花壇」



令和6年4月22日
「道の駅ゆいんで美化活動」

道路



令和6年10月5日
「やまなみハイウェイ一斉清掃活動」



令和8年1月31日
「別大毎日マラソン大会前日の一斉清掃」

防災

地域連携

ボランティア・サポート・プログラム(VSP)

国道の清掃美化活動を行う地域や企業の皆さんと共に快適な道づくりを進めるため、各ボランティア団体と「ボランティア・サポートプログラム」(VSP)協定を締結して活動を支援します。

VSP協定団体は25団体(令和7年1月現在)を数え、各団体においてゴミ拾いや植栽帯の整備などの活動を実施しています。



VSP協定団体(顕徳町老人会デウスクラブ)の活動状況

大分河川国道の歩み